

「就地取材」の精神で 希望のまちづくりを

鉄と魚とラグビーのまち

岩手県の東南部に位置し、リア
ス式の海岸線を有するわがまち釜
石市は、黒潮と親潮がぶつかる豊
かな漁場「三陸沖」や、良質な磁鉄



サポーターと共にトップリーグ入りを目指す「釜石シーウェイブスRFC」

鉱、森林などの資源を背景に、製
鉄業と水産業を中心に「鉄と魚のま
ち」として発展してきました。

また、ラグビー日本選手権7連
覇を成し遂げ「北の鉄人」とも呼ば
れた新日鉄釜石があるラグビーの
まちとしても知られています。そ
の新日鉄釜石ラグビー部は、平成
13年に地域共生型クラブチーム「釜
石シーウェイブスRFC」として
新たなスタートを切り、多くのサ
ポーターと共にラグビーのトップ
リーグを目指して頑張っています。

世界遺産登録に向けて

安政4年(1857年)12月1日、
盛岡藩士・大島高任が、釜石にお
いて、わが国で初めて洋式高炉に
よる鉄鉄の連続出鉄に成功しまし
た。以来、工夫と努力で前人未到
の新技术を開拓するとともに、地

域を挙げて鉄造りに取り組んでき
た本市の歴史は、わが国の鉄鋼業
だけでなく、日本の産業の近代化
経済・社会の発展に大きく貢献し
てきました。

これを記念して12月1日が日本
鉄鋼連盟によって「鉄の記念日」に
制定されるなど、本市は日本の「近
代製鉄発祥の地」でもあります。

こうした中、ユネスコ世界遺産
登録を目指しております。九州・山
口の近代化産業遺産群「世界遺産登
録推進協議会の専門家委員会から、
本市の鉄造りの遺産である橋野高
炉跡をその構成要素の一つに加え
るよう提言がありました。わずか
60年で近代化を成し遂げた日本の
産業の歴史を語る上で、本市の鉄
造りの歴史が欠かせないことや、
本市のものづくりの原点である、
鉄造りに懸けた先人の不撓不屈



近代製鉄発祥を物語る、現存する日本最古の洋式高炉「橋野高炉跡」

世界遺産登録推進協議会と協力作
り、橋野高炉跡が世界遺産に登録
されるよう各種の取り組みを進め
たいと考えています。

緑のシステム創造へ

また、こうした150年を超え
る鉄造りの歴史に培われたものづ
くりの人材と、本市の面積の約9
割を占める森林の豊富な資源を活
用し、森林事業者や製造業者、行
政の連携による、「緑のシステム創
造事業」に取り組んでいます。この
事業では、計画的な森林整備に加
え、安定的な用材搬出と未利用資
源となつている林地残材を一体で
森林外へ搬出・供給する地域独自



「緑のシステム創造事業」で活用する林内未利用資源

の複合的供給システムの構築を目
指しています。

具体的には、林内路網の整備や
高性能林業機械の導入による生産
性の向上と作業の効率化を図ると
ともに、定性間伐主体から列状・
定性の複合的間伐へと新たな施業
方法への変更を検討しています。

これにより、森林の適正な整備
はもとより、木質バイオマス資源
の有効活用による森林の公益的機
能の回復や、化石燃料からの脱却
と森林の二酸化炭素吸収量増加に
よる低炭素社会の実現、林家など
への所得分配、さらには雇用の場
の創出など、森林を中心とした地
域循環型の木材供給システムの構
築による林業の振興を図ってい
ます。

「みんなで創る希望のまち」

この2つの取り組みで触れまし
たように、まちづくりは地域資源
を生かし、かつ市民の力を結集し
て取り組む必要があると考えます。

近代製鉄の父と称される大島高
任の伝に「火のことは火を知るもの
に、山のことは山に、風のことは
風に聞け」という言葉があります。
新しい技術を確立する際、地域が

持っている人材、もの、技術をよ
く理解し、活用しながら導入して
いかなければ事は成し遂げられな
いということ、これは一口で言
うと「就地取材」の精神を表してい
ます。

高任が釜石の鉄鉱石製錬の土着
技術や水車動力などの自然環境を
巧みに生かしながら、西洋におけ
る製鉄法の原理を取り入れて、日
本の近代製鉄技術を確立したこと

は、まさにこの精神を体現したも
のであると思います。私は、高任
がこの精神を土台に製鉄技術の近
代化に成功したように、この精神
を大切にして市民が幸せに暮らす
ことができるまちを実現したいと
考えています。

釜石にあるあらゆる資源を大事
にしなが、市民みんなの力を合
わせ、希望のまちづくりにまい進
してまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 441.42km²
- ◆ 人口 4万604人
- ◆ 世帯数 1万7644世帯

〔将来都市像〕人と技術が輝く、海と
緑の交流拠点
〔まちの特徴〕150年を超えるもの
づくりの歴史と、資源豊かな海と森
林を有するまち

〔特産品〕キャビア、地酒、サンマ
りん干し、イカ一夜干し、仙人長老喜、
自然水、甲子柿



釜石市長
野田武則



〔観光〕釜石大観音、鉄の歴史館、橋
野高炉跡、観光船はまゆり、五葉山、
釜石広域ウインドファーム、農漁業
体験
〔イベント〕四季の味覚まつり、釜石
まつり、釜石よいさ、釜石さくら祭
釜石はまゆりトライアスロン国際大
会

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、
人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「生き活きとごろざわあったか市政」の実現を目指して

はじめに

所沢市は、東京都心から30km、武蔵野台地のほぼ中央に位置し、東京都に接しています。市の東部・北部地域では平たんな農用地が多く、西部地域では丘陵地帯が広がるなど起伏に富んだ地形となっています。

本市の魅力としては、まず、利便性の高い都市機能と武蔵野の面影が残る豊かな自然とが調和しているまちであることです。本市は、狭山丘陵、狭山湖、武蔵野の雑木林、日本一長いケヤキ並木といった豊かな自然と多くの緑を有しています。その一方で、私鉄とJRを合わせて11の駅と関越自動車道の所沢インターチェンジがあるなど、都心へのアクセスを中心とする高い利便性を生かし、発展

してまいりました。

次に、プロスポーツチームの本拠地であることが挙げられます。プロ野球の「埼玉西武ライオンズ」とプロバスケットボールチームの「埼玉ブロンコス」が、本市を本拠地として活躍しております。両チームは、共に地域密着型のチー



明治44年、所沢飛行場より飛び立ったアンリ・ファルマン機

ムを目指す中、多くの市民にスポーツの魅力や、子どもには夢を与える存在となっています。平成20年の「埼玉西武ライオンズ」が日本一に輝いたときには、優勝パレードを行い、大いに盛り上がるなど、市も市民と共に応援をしています。

なお、政令指定都市以外でプロ野球チームの本拠地となっているのは本市だけです。

市制施行60周年と航空発祥100周年

本年は、市制施行60周年を迎えるとともに、平成23年には航空発祥100周年を迎えます。

本市の歴史は、市内で発見された遺跡から、旧石器時代の1万5000年前から2万年前には既に人が住んでいたことが示さ

れています。鎌倉時代末期には、

新田義貞の軍勢と鎌倉幕府軍との「小手指ヶ原の合戦」がありました。江戸時代には鎌倉街道をはじめとする街道筋の宿場まちとして栄え、三富開拓地割が柳沢吉保によって造られるなど、多くの歴史が刻まれたまちです。

市制は昭和25年11月に、埼玉県で8番目に施行しました。当時は人口4万2000人余りで水田、畑、茶園と雑木林が広がり、農業が中心でした。その後、高度経済成長時代には市内各地で大規模な宅地開発が行われ、急激な人口増加とともに首都圏有数の住宅都市へ変ぼうしてきました。現在では人口34万人余りを有し、豊かな自然と都市機能が調和した埼玉県南西部の中心的な都市として発展し、本年市制施行60周年を迎えます。

また、本市は、日本で最初の飛行場である「所沢飛行場」が開設された航空発祥の地です。平成23年は、陸軍の徳川大尉がフランス製

複葉機のアンリ・ファルマン機により、所沢の地から大空に舞い上がった明治44年から、100年の時を重ねることになります。アンリ・ファルマンの名は、市内のお菓子や道の名称として今でも残っており、航空発祥の地を記念して開設された所沢航空記念公園や所沢航空発祥記念館は、所沢のシンボルの一つとして市民に親しまれています。

市制施行60周年と航空発祥100周年を機に、先人が築き上げてきた「ふるさと所沢の歴史と文化」をしっかりと引き継いでいくとともに、未来につなげていきたいと考えています。

「市民と双方向の市政運営」と「市民協働のまちづくり」

本市では、平成23年度からスタートする「第5次所沢市総合計画」と「(仮称)まちづくり基本条例」の策定に取り組んでいます。第5次所沢市総合計画は、時代の変化に対応できる計画とし、今後の市政運営の「道しるべ」として位置付けています。一方、(仮称)まちづくり基本条例は、自己決定・自己責任を求められる地方分権・地域主権の時代にふさわしい自治の基本理念や市政運営の基本ルールを定める「まちの憲法」として位置付けています。

策定にあつては、「市民との協働」を基本に、どちらも公募の市民委員と市職員が協働して具体的な検討を進めるため、平成21年には「パートナーシップ協定」を締結し、市民と共に作り上げているところです。

また、市民協働のまちづくりを推進するためには、市民の主体的な地域活動・市民活動の広がりが必要不可欠です。このため「新たな地域コミュニティの構築」を市政運営のキーワードの一つとして掲げ、市



山車の引き回しに沸き立つ「ところざわまつり」

民活動の拠点づくりや安心して活動できる仕組みづくりに取り組んでいます。

平成21年度の市民意識調査では、所沢への愛着について、「持っている」「どちらかといえば持っている」を合わせると8割を超える方から肯定的な評価を頂きました。過去の同様の調査結果の中で最も高い値となっています。

「市民と双方向の市政運営」と「市民協働のまちづくり」を推進することとは、さらに所沢への愛着を高くくむことにつながるものと考えています。以前から住んでいる方にはもちろんのこと、新たに住まわれた方にも「このまちに住んでよかった、これからも住み続けたい」と思っていただけるまちづくりに引き続き努めてまいります。

プロフィール

- ◆ 面積 71・99km²
- ◆ 人口 34万1679人
- ◆ 世帯数 14万5182世帯

〔将来都市像〕 ゆとり・うるおい・活力ある生活文化都市

〔まちの特徴〕 武蔵野の雑木林、狭山丘陵に代表される緑、大空へ夢をつなぐ航空発祥の地といった素晴らしい環境に恵まれ、自然と都市機能が調和したまち

〔特産品〕 狭山茶、サトイモ、ホウレンソウ、焼きだんご、手打ちうどん、



所沢市長 当麻よし子



押絵羽子板
〔観光〕 狭山丘陵(トトロの森、狭山湖、所沢航空記念公園、所沢航空発祥記念館、埼玉西武ライオンズ、埼玉ブロンコス)
〔イベント〕 ところざわまつり、所沢市民フェスティバル、所沢市民文化フェア、所沢シテイマラソン

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

「里海」の概念に基づいた「人と自然が共生するまちづくり」

はじめに

志摩市は三重県の中中部、伊勢湾の入り口に突き出した志摩半島の南岸に位置し、平成16年10月に志摩郡の5つの町が合併して誕生した人口約6万人のまちです。北部は鳥羽市と伊勢市、西部は南伊勢町と隣接し、市の全域が伊勢志摩国立公園の指定を受けています。リアス式海岸の複雑に入り組んだ海岸線と常緑の広葉樹に覆われた丘陵の美しいコントラストが、この地を訪れる人々に大きな感動を与えています。

「御食つ国」志摩

本市は若狭、淡路とともに、豊かな水産資源に恵まれた地域であり、朝廷に水産物などを献上していたことを意味する「御食つ国」と

しゅんせつ事業などにより、漁場環境の保全が図られてきました。

「きれいな海」から「豊かな海」へ

本年は、国連の定めた「国際生物多様性年」であり、10月には名古屋において生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が開催されます。また21世紀環境立国戦略には、藻場・干潟の保全・再生・創生、水質汚濁防止策、持続的な資源管理などを総合的に推進することによる、多様な魚介類などが息づく自然の恵み豊かな「里海」の創生



真珠いかだの風景が美しいリアス式海岸の英虞湾

呼ばれてきました。伊勢湾の湾口から熊野灘にかけての外洋域は複雑な岩礁域が好漁場を形成し、「伊勢えび」や「あわび」といった磯根資源の宝庫となっています。最近では市内に水揚げされる天然トラフグが漁業者と旅館経営者の努力により「ありのふぐ」としてブランド化され、好評を得ています。伊勢神宮の神宮林などを水源とする3本の河川が流入する矢湾は、豊かな森の栄養が運ばれることからマガキの養殖に適しており、故佐藤忠勇博士が開発されたマガキの浄化技術により、生で食べることのできる「的矢かき」は食通から特に高い評価を得ています。また、本市の水産物として忘れてはならないのが真珠です。明治40年に御木本幸吉をはじめとする多くの先駆者の努力により真珠の養殖技術

が確立されると、英虞湾、的矢湾は世界有数の真珠養殖漁場となり、伊勢志摩の経済に特に大きな恵みをもたらしました。本市で水揚げされる水産物の多くが三重県の認定した「三重ブランド」として県を代表する特産品となっています。

経済発展と海環境変化

本市の市民は、海から多くの恵みを得て生活してきました。しかし、昭和20年代の真珠養殖業の急激な拡大や昭和40年代からの急速な観光地化、ライフスタイルの変化による生活排水の増加など、高度経済成長の中で海への配慮が忘れられ、海環境は大きく変化してしまいました。

英虞湾や的矢湾では夏になると海底近くの酸素濃度が低下する「貧酸素水塊」が発生するようになり、

が環境施策として明記されています。このように、沿岸域の環境保全は全国一律の基準ではなく、地域の地理的、社会的環境や生態系の安定などを考慮した「望ましい沿岸海域の環境」を創生していくことが必要だという機運が高まりつつあります。平成21年11月にはフィリピンで開催された沿岸域の総合的管理に取り組んでいる国々が集まる東アジア海洋会議にも出席しましたが、日本の「里海」という言葉が「Satoumi」として世界中で使われ始めていることを知りました。

海を環境を保持するためには、これまでの環境行政の中で重点的に扱われてきた水質の浄化だけでなく、森・川・海を通じた水の循環など、陸と海を含む沿岸域の全体を見渡しながら物質の循環(食物連鎖)を支える生態系の保全と再生に取り組むことが必要です。そして、地域のさまざまな利害関係者と協力して順応的な取り組みを進めることが求められています。

総合的な沿岸域管理による地域づくり

本市では、これまで多くの関係

機関と協力して、英虞湾を中心に総合的な沿岸域管理を効果的に実施するための科学的な調査を行いました。今後は「新しい里海」という概念に対する市民の意識の向上や総合的な沿岸域管理を進めるための中・長期的な計画作りが必要になります。そのため、環境省の「里海創生支援モデル事業」や海洋政策研究財団と共同で「海の健

康診断」事業といった取り組みを進めています。「御食つ国」と呼ばれた本市の豊かな海の恵みを後世に伝え、これからも海と共生したまちづくりを進めるためには、多くの課題が山積しています。国や県、関係団体の皆さんのご協力を頂きながら、本市をますます魅力ある地域にしたいと考えています。

プロフィール

- ◆ 面積 179.63km²
- ◆ 人口 5万8101人
- ◆ 世帯数 2万2669世帯

〔将来都市像〕「住んでよし、訪れてよしの志摩市」

〔まちの特徴〕市の全域が伊勢志摩国立公園に属し、四方に豊かな海あり、八方に旬の逸品ありの「御食つ国」

〔市町村合併〕平成16年10月1日、浜島町、大王町、志摩町、阿児町、磯部町の5つの町が対等合併

〔特産品〕真珠製品、ありのふぐ、的



志摩市長 大口秀和



矢かき、伊勢えび、あわび、きんこ、イチゴ、南張メロン、てこね寿司、あおさ

〔観光〕志摩スペイン村、合歓の郷、志摩マリナランド、英虞湾、横山、安乗埼灯台、大王埼灯台、御座白浜、国府白浜、天の岩戸、ともやま公園、海ほおずき、志摩自然学校、志摩パークゴルフ場

〔イベント〕伊雑宮御田植祭、伊勢えび祭、安乗の人形芝居、潮かけ祭り、わらじ祭り、国分寺花まつり、志摩ロードパーティーハイフマラソン

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。



三重ブランドに認定された「ありのふぐ」

西山の豊かな自然に抱かれて 活力ある、安心安全のまちづくり

いにしへの都・長岡京

長岡京市は京都盆地の南西部に位置し、乙訓地域を形成する中心市として、北は京都市につながり、西は西山山地を境に大阪府と接しています。その西山の豊かな緑とふもとに広がる竹林や田園風景が人々に心の潤いと安らぎを与え、長岡京らしい景観をはぐくんできています。美しい西山の景観を守るため、平成21年度に本市は「景観条例」を制定し、また、自然環境保全に向けては、「環境の都」長岡京市環境都市宣言を行ったところです。

JR東海道本線より西側の地域は住宅・商業地区、東側の地域は日本有数の大企業などが集積した工業地区として発展する一方、日本一といわれるタケノコやナス、花菜の産地としても名高く、商業・

工業・農業の均衡の取れた都市形態となっています。

本市は、延暦3年(784年)にいにしへの都「長岡京」が置かれた王城の地であります。また、乙訓地域最大の前方後円墳で、国指定の史跡である恵解山古墳、空海が別当を務めた乙訓寺、菅原道真ゆかりの長岡天満宮、中世の城である勝龍寺城、紅葉で名高い光明寺など数多くの名所旧跡があります。全体が文化財の宝庫であります。

中でも、勝龍寺城は、明智光秀の娘・玉(後の細川ガラシャ)が城主細川藤孝の長男・忠興にお輿入れした城として全国的に有名です。平成4年には、勝龍寺城跡を整備し、市民が憩える勝竜寺城公園が完成しました。同時に、市民の提案により、細川ガラシャのお輿入れの様子を再現する「長岡京ガラ

シャ祭」が開催されました。

以後、ガラシャ祭は、市民まつりとして、毎年11月の第2日曜日に、市民参加による時代行列巡行を中心として、盛大に行われています。

音楽のまち・長岡京

さらに最近では、「音楽のまち・長岡京」としても有名になりました。

世界的なバイオリニストである森悠子氏を音楽監督とし、本市で結成された「長岡京室内アンサンブル」が国際的にも高い評価を受けて、演奏活動をされています。

また、本市では平成20年度から、優れたオペラ、オーケストラおよび室内アンサンブルが鑑賞できる「長岡京音楽祭」を開催しております。平成21年からは、京都府内でも評価の高い中学生の吹奏楽



キラシマツツジの美しい長岡天満宮八条ヶ池

け、市民と行政の協働により、平成23年度〜27年度を計画期間とする第3次総合計画第3期基本計画を策定しています。

特に本年度は計画策定を踏まえ、**「環境」「健康」「安全」**をまちづくりの3つのキーワードとして、活力のあるまち、安心安全のまちづくりに取り組んでいます。

まず、都市基盤整備の一環として、京都第二外環状道路(にそと)と阪急電鉄京都線の交差する地点に新駅が、平成24年度末に開業の予定であり、本市は市南部地域の



細川ガラシャのお輿入れを再現した長岡京ガラシャ祭

利便性の向上と活性化を目指して、駅周辺整備事業を開始しています。高速度道路のインターチェンジと鉄道の駅が交差するという、全国でもまれな、新しい公共交通の結節点の整備により、広域的な発展が期待される場所です。

次に、地域力の向上を目指して、世代を超えた幅広い交流を促進する「多世代交流ふれあいセンター」を4月から開設しました。また、小学校区を単位として「地域コオーディネーター」を配置し、地域コミュニティのより一層の活性化を図っています。

さらに、環境と景観を創造する取り組みとして、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助や防犯灯や街路灯のLED化にもモデル的に取り組んでいます。

また、本市の大切な緑の財産である西山の森を守るため、森林所有者、地域住民、企業、NPO、大学、行政などが連携して、「西山森林整備推進協議会」を平成17年に設立しました。その活動は、モデルフォレスト運動として注目されています。協議会では多様な主体から参画している会員の皆さんが西山の森に入り、過密なスギ・ヒ

ノキ林を、間伐などにより、豊かな美しい人工林へと手入れしていきます。本市は協議会発足時から参画と支援を続けています。

安心・安全なまちづくりの視点では、本市は小中学校の耐震化や災害時用マンホールトイレの整備を積極的に進めております。

さらに、平成20年度には、市内の小中学校全校にPFIの手法を用いて、空調設備を導入しました。これを契機に環境教育を推進して

います。

厳しい財政状況の中ではありましたが、本年度一般会計予算は、総額243億6160万円、語呂合わせではありませんが、くしくも「西山山麓、色鮮やか」となりました。西山の豊かな自然に抱かれながら、自然環境と都市景観の融合、活力ある都市基盤整備、そして地域力・文化力の向上により、「創造と共生で住みつけたい長岡京」の実現を目指してまいります。

「環境」「健康」「安全」のまちづくり

現在、本市では、地域主権に向

プロフィール

- ◆ 面積 19.18km²
- ◆ 人口 7万9818人
- ◆ 世帯数 3万3817世帯

〔将来都市像〕住みつけたい、みどり歴史のまち 長岡京

〔まちの特徴〕いにしへの都・長岡京跡や多くの文化財、豊かな西山の緑があり、交通の便にも恵まれた、住民の定住志向の強いまち



長岡京市長 小田 豊



〔特産品〕タケノコ、竹工芸品、花菜、千両ナス

〔観光〕長岡天満宮、光明寺、楊谷寺、乙訓寺、勝竜寺城公園、サントリール酒類(株)京都ビール工場

〔イベント〕春の観光まつり、たけのこフェスタ、あじさいまつり、秋のもみじまつり、名月の宴、竹林コンサート、長岡京ガラシャ祭

※面積は国土地理院「全国都府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

今こそ独自の突破力と発信力を

本年度は飛躍の年に

今、地方分権の大きなうねりの中で、国と地方の関係そのものが変わろうとしています。全国800余りの都市の生き残りを賭けた知恵比べが激化しています。そのような中、首長が考えていかねばならないのは、発想やアイデアでどれだけ新しい行政の付加価値と市民の幸せを生み出しているかということです。総社市はこれまで高いモチベーションを持ち



カストロ・ネーベス駐日ブラジル大使と握手

ながら、まちづくりのさまざまな分野でNo.1を目指してきました。本年度は本市がこれまで進めてきた取り組みが形になっていく飛躍の年にしたいと考えています。

霞が関に「対峙」できる人材の育成

特に、これからの地方分権に対応できる自立した強い総社市をつくるため、人材育成は、大きなテーマです。職員採用試験、人事考課、職員の意識改革、それぞれの課題に独自の取り組みを行っています。

職員採用試験に民間のジャッジマンを起用

平成21年度の職員採用試験は、政策立案能力、組織内突破力、問題解決能力に秀でた職員を採用するため、2次試験の「あなたが総社

市長に立候補するならどんなマニフェストを掲げるか？」をテーマとしたプレゼンテーション討論試験に、全国でも珍しい民間企業からの試験官を登用しました。この試験を勝ち抜いた若いルーキーズがこれからの市役所を変えていくことができるのか大いに楽しみです。

総社オリジナルの人事考課制度

本年度から本格的に実施する人事考課制度は、制度設計の段階から職員と民間企業の人事のプロが共同作業でつくり上げた本市自慢の先進的な制度です。職員組合とも協議を重ね、本格的なインセンティブを盛り込んだ職員のやる気を生み出し、人材を育てていく制度となりました。これから、良い意味での信賞必罰が市役所の組織に根付いていくものと期待しています。

中央省庁のスピード感を総社市に注入

まだ多くの職員に染み付いている、国・県の指示に従ってほかの市と横並びの行政をやれば良いという体質を変えていくため、副市長に国土交通省キャリアの竹田正彦氏を迎え、霞が関の洞察力、企画力、スピード感を全職員の精神に注入してもらっています。また、毎年若手職員を一年間文部科学省に派遣していますが、彼らにはわが国を動かしている中央省庁のごみ、実力を体感するとともに、広く知己を得て将来国との太いパイプを持つ人材に成長してほしいものです。

これからの地方分権を推進していくためには、その受け皿となる基礎自治体の体力の向上が不可欠であり、職員の資質向上こそが、その原動力である血液となるのです。

総社流の政策を全国発信

これからの地方自治体は、自ら

の政策や地域の特性をどんどん内外にアピールしていかなければなりませんし、メディアの活用を含めて全国を意識した発信力を高めていくべきです。自分の住むまちの行政が今何を考え、何をやっているかを発信することは、市民に対して、故郷を離れ都会で暮らす出身者に対しても大切なメッセージになります。それぞれの仕事のいろいろな分野で発信力を持ってやっていくことが、これからの行政マンの心得の一つであり、大いなる役割です。

平成21年3月に実施した三菱自動車新車200台の購入に対する10万円キャッシュバックは全国的にも話題となり、本市の基幹産業である自動車部品製造業を元気づけるとともに、国のエコカー減税



「SOJA BRAZILIAN DAY」にて開催されたフォーラム

導入へと結び付きました。不況に立ち向かう強いメッセージを総社から全国に発信できたいと思います。また、今年の2月と3月には、本市を全国に発信できる大きなイベントがありました。

SOJA BRAZILIAN DAY

本市は、西日本有数の外国人の住民が多いまちで、市内には中国唯一のブラジル人学校「エスコール・モタロウ・オカヤマ」が開設されています。100年前に夢を求めブラジルに渡った多くの本市市民の末裔たちは、現在景気後退の中で厳しい環境に置かれていますが、その痛みを分かち合い、共に暮らしていける多文化共生のまちづくりを進めています。

3月27日には、本市の多文化共生の取り組みに共感して、カストロ・ネーベス駐日ブラジル大使や石川在エジプト大使などそうそうたるメンバーが、本市の国際交流イベント「SOJA BRAZILIAN DAY」を訪れてくださいました。この日開催のフォーラムにおいて、ブラジル大使を総社市国際名誉顧問に委嘱。また本市と静岡県浜松市とが「多文化共生に資

する人材育成等に係る覚書」を締結し、この日は日本の多文化共生にとってもエポックの1日になりました。

プロフィール

- ◆ 面積 212.00km²
- ◆ 人口 6万7439人
- ◆ 世帯数 2万4353世帯

〔将来都市像〕 地域・文化・自然が支える心豊かな生活交流都市
〔まちの特徴〕 古代吉備の国の中心として栄え、現在豊かな自然環境と広域交通の利便性により着実な発展を続けるまち

〔市町村合併〕 平成17年3月22日、総社市、山手村、清音村により新設合併



総社市長 片岡聡一



〔特産品〕 モモ、マスカット、ピオーネ、セロリ、イチゴ、赤米製品、玉豆腐、きびみどり製品
〔観光〕 吉備路、備中国分寺、宝福寺、鬼ノ城、福山城址、名勝豪溪、総社宮、きびじつるの里、サン直広場「ええと」そうじや
〔イベント〕 吉備路れんげウィーク、総社市民まつり雪舟フェスタ、義民祭、そうじや吉備路マラソン、神が辻新狂言、力石総社

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。